

(訪問資料②は、全てA4片面印刷とする。)

平成27年度 学校訪問資料②

学校名 胎内市立きのと小学校	Tel 0254(46)2025	学級数 7	研修日 ① 月 日( ) ② 月 日( ) ③ 月 日( )
----------------	------------------	-------	--------------------------------

1 取組分野 (3枚中の1枚目)

知識・技能の確実な習得と活用 (基礎・基本の確実な定着)

2 前年度の成果と課題

成果	<p>○外部から指導者を招いての研修会を4回行った。そのうち2回は、全学級での授業公開を行った。「教え、考えさせる授業」の学び合いを重視した授業スタイルの確立と共有化が進み、全職員が、意図的な3つの過程(教える、理解確認、理解深化)で授業を行えるようになった。特に、活用を促す理解深化での課題を見出す力を高めた。</p> <p>○学び合う姿や書かせたい学習の振り返りのイメージを全職員で共通理解できた。</p> <p>○分からないことを質問したり、「わけ」や「たとえば」という言葉を使い、根拠を示して友達の意見に賛成や反対をしたりする学び合う姿が見られるようになった。また、学習の振り返りに、友達の考えから学んだことが書かれるようになった。</p> <p>○問題解決に向けて話し合うことを楽しみにしたり、学習の振り返りを意欲的に書いたりするなど学習意欲が向上した。</p>
課題	<p>○全国学力・学習状況調査の算数Bの記述問題に類似した活用力テストを実施し、解答は複数の観点から採点した。ある程度の観点をクリアした説明を書ける児童は60%以上だったが、複数の観点を完璧にクリアできた児童は20%以下だった。</p> <p>○順序立てて解決しなければならない問題を苦手になっている。また、自分が分かっていることを論理的に順序良く説明していくことにも弱さがある。</p>

3 評価項目・評価基準

	成 果	教 育 活 動	運 営 活 動
評 価 項 目	【年度当初】 ◎学び合っている子どもの割合80%以上を目指す。	【年度当初】 ◎「教え、考えさせる授業」の学び合いを重視した授業を各学期2単元以上実施する。	【年度当初】 ◎確かな学力をつけさせるための研修や授業実践の情報交換を学期に3回以上実施する。
	○思考力、表現力を図るための記述式テストで、学期ごとの目標を達成している子ども 70%の割合%以上を目指す。	○思考力、表現力を図るための記述式テストを学期に1回実施する。	○説明の型を身に付けさせることを目指した単元計画に位置づける。
評 価 基 準	A : 80%以上 B : 70%以上 C : 70%未満	A : 全学年実施 C : 5学年以下	A : 学期3回以上 B : 学期2回 C : 学期1回
	A : 70%以上 B : 60%以上 C : 60%未満	A : 全学年実施 C : 5学年以下	A : 全学年実施 B : 4学年以上実施 C : 4学年未満実施